

事業名	適応指導教室の運営事業	評価実施者	所 属	心の教育推進室
			職・氏名	室長 吉川 修

主要事業の概要	開始年度	H7	根拠法令等	特定財源		
	実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他()
	目的	不登校児童・生徒の学校復帰を図るための相談と指導				
	事業内容	通級者に対して、学習意欲や進路目標を持たせ、規則正しい生活習慣の定着と自信の回復を図る。また、ソーシャルワーカーを配置して教育相談体制の充実を図った。体験活動や集団活動をととして協調性や社会性を身につけさせ、対人関係の改善を図る。				

事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項	
	事業費(A)			626	31	427		
	うち一般財源			0	0	201		20年度 相談員2名 SSW1名 21年度 相談員3名 SSW1名
	人件費(B)			3,128	4,158	5,722		
	総コスト(A)+(B)	0	0	3,754	4,189	6,149		単位:千円

実績と成果	区 分	単位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果	
	事業の実績 (アウトプット)	1 不登校者年度末計	人	31	44	45	42		
		2							
		3							
	事業の成果 (アウトカム)	1 適応指導教室通級者	人	10	7	9	6		
		2 うち学校復帰者	人	4	7	9	6		
3									

評価項目	点数	判定及び説明・考察					
1 適応性 有効性		市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	5	4	3	2	1
		事業の目的に照らして効果的な手法か。	5	4	3	2	1
2 目標 達成度		目標の水準は適切か。	5	4	3	2	1
		計画通りに目標を達成できたか。	5	4	3	2	1
		目標は、通級者全員の完全学校復帰が目標としている。登校の習慣付けになる効果的な指導を実施しているが、不定期登校が多い現状である。					
3 経済性		コストは縮減しているか。	5	4	3	2	1
		最少の経費で運営しており、達成している。					

総合評価	合計	21	ランク	上記評価を踏まえた事業の課題	教育相談をさらにすすめ、児童・生徒の学習意欲の喚起や生活習慣の改善への指導助言に努めたい。
	100点換算	84	B		
		/25	(A~E)	拡充 縮小・統廃合 質的向上 スピードアップ 検証 現状維持	
		/100			

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

- A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
- B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
- C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
- D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
- E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判定					点検・評価に関するコメント
1 適応性 有効性		5	4	3	2	1	
		5	4	3	2	1	
2 目標 達成度		5	4	3	2	1	
		5	4	3	2	1	
3 経済性		5	4	3	2	1	
合計		0	100点換算	0	ランク	E	
		/25	/100				